

# 公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

## 研修報告書 (2019年度 助成者)

作成日 2019年 8月 21日

氏名 (フリガナ)	森川遥香 (モリカワハルカ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2019年8月12日 (月) ~ 8月17日 (土)
大学名	琉球大学
学年	5年次

まずはじめに、本研修に関わって下さったすべての方々に、このような素晴らしい機会を与えて下さったことに感謝申し上げます。1週間という濃密なスケジュールでしたが、日々新しい知識を吸収することができ、一言では表現できないほど非常に充実した研修でした。私は、大学の選択実習の一環として来年アメリカで一か月の臨床実習を予定しており、その準備目的のために参加しました。実習で必要となる問診やケースプレゼンテーションのスキル向上はもちろんのこと、ハワイで働かれている日本人医師の方々とのコネクションや全国から集まった同じ志を持つ医学生と知り合えたことは人生の大切な財産となりました。それでは、本研修で学んだことを3つに分けて簡単に紹介したいと思います。

### 1、問診・ケースプレゼンテーションのやり方

今まで、学校の病院実習の一部として患者さんの問診を取ったり、それを簡単にプレゼンしたりするというような経験は多少ありました。しかし、英語でその一連の流れを行い、そして毎回フィードバックをもらうというように丁寧に教えて頂いたことは初めてでした。午前中は参加者同士で簡単な症例を使いながら模擬面接とプレゼンテーションをし、そして午後はハワイ大学医学部の学生の方々を相手に本番さながらの問診を行い、それを日本人あるいはハワイの医師の方々に発表するという流れを何度も何度も繰り返しました。適切な英語の言い回しが分からなかったり、文化の違いがあるため問診内容が若干日本式のものとは違っていたり、限られた時間で必要な情報をできるだけ漏らさないように聞くのが意外と難しかったりなど、課題は毎日のように見つかりましたが、先生方にそれをすぐに質問しご指導いただくことができる環境が用意されていました。そのため、初日に比べて格段に上達していることを自分自身でも実感することができ、まだまだ改善点は山ほどありますが、来年の臨床留学に向けて良いスタートを切れたのではないかと思います。

### 2、ハワイの病院訪問

小林先生が開業していらっしゃる聖ルカクリニックと主に老年医学を行っているクワキニ病院を訪問させて頂きました。聖ルカクリニックは、立地も眺めも素晴らしい場所に位置しており、また日本人の先生が多く勤務されていました。そして、アメリカと日本との医療制度の違いについて小林先生からお話を伺うことができました。また、クワキニ病院ではアメリカの医学教育についてのお話を聞いたり、ボランティアの方々に病院内を案内して頂きました。私は生まれも育ちも沖縄なのですが、沖縄とハワイの間では医学交流が盛んだと知り、ハワイの医療により興味を抱くきっかけとなりました。

### 3、ハワイで働かれている先生方のお話

本研修では、日本の医学部を卒業後アメリカの医師免許を取得し、ハワイでホスピタリストとして、あるいは外科医として、そして教育者として活躍されているいらっしゃる複数の先生方に実際にお会いすることができました。先生方がどのような経緯でアメリカにて医師をされているのか、日米の医療の長所・短所、そして米国留学を志す医学生に向けたメッセージを教えてくださいました。今まではインターネットから米国留学の情報を得ていたのですが、厳しい関門を突破した先生方のお話を実際に **Face to Face** で聞くことで、厳しく長い道のりだが自分の夢を追求することの素晴らしさを実感することができ、将来への励みになりました。

最後に、本研修で学んだことをしっかりと自分の中で整理し、今後の自分の未来へと繋げていきたいと思っています。そして、願わくば、次は米国で働く者として今回出会った皆様方に再会できればと思います。